

企画提案型協働事業 事業進捗確認シート(令和3年度実施事業分)

1. 事業概要

事業名称	訪問傾聴ワーカー地域派遣(フォローアップ)、養成事業	
事業の実施者	実施団体名	NPO法人ソーシャルサポートこむねっと
	実施担当課名	高齢者福祉課

2. 事業の進捗状況

実施団体		実施担当課			
協働事業実施中	設問	回答			
	協働事業実施中	Q1 事業は当初のスケジュールどおり進んでいますか。	完了した	予定どおり	一部遅れている
				○	
	遅れが生じている場合は、その理由と今後の対応について記入してください。 養成事業について一コロナ感染が広がり緊急事態宣言になり、開催ができなかったため残り1回分と確認テストができていない。 派遣事業について一コロナ禍という状況であり、市の社会資源である介護ボランティアは活動できていないと聞いている。そんな中、月10回の訪問傾聴(一件電話)活動は、よく健闘していると思う。				
	Q2 事業は当初の計画どおり実施できていますか。	計画を超える成果	できている	一部できていない	できていない
				○	
	実施できていない点があれば、その内容と今後の対応について記入してください。 養成事業について一コロナ感染が広がり緊急事態宣言になり、開催ができなかったため残り1回分と確認テストができていない。 フォローアップ講座について一オンラインの活用などをし、フォローアップ講座については、計画通り進んでいる。 派遣事業について一コロナ禍という状況であり、先日、市の社会資源である介護ボランティアは全く活動できていないと聞いている。そんな中、月10回の訪問傾聴(一件電話)活動は、よく健闘していると思う。 が、コロナ禍でなければ、もう少し、活動も増えたように感じる。 現在は、市民活動支援センターにて、「高齢者のためのzoomの楽しみ方講座」を開催し、zoomを使える高齢者を増やしている。				
	実施できていない点があれば、その内容と今後の対応について記入してください。 コロナ禍で会場を使用した研修等が未消化となっていることから、団体において受講生の知識不足を補うためのペーパーテストや、訪問傾聴に関する実技テストの実施を検討している。 また、事業に参加している受講生の取り組み姿勢に温度差があるため、傾聴人材の育成という面からは、今後は面談等により参加者の選抜をする可能性もある。				
自由記入欄		自由記入欄			
その他、事業の展望や課題を含め、現状で気づいた点があればご記入ください。		その他、事業の展望や課題を含め、現状で気づいた点があればご記入ください。			
<p>● 事業の展望</p> <p>今後は高齢者福祉課も離れることとなり、高齢者以外の傾聴も行う予定。 また、商標登録もしたため、今後は、養成講座を修了したのみで地域で活動ができるのではなく、法人が認定をした方に、地域にて活動をしていただくようにする方向で考えている。よって、倫理綱領、認定規程も現在、作成中である。 他市にも、訪問傾聴ワーカー養成講座を持ちかける予定。</p> <p>● 現状で気付いた点(課題)</p> <p>支払いについて 市民が出すのには、額が大きいこともあり、概算前払いにして欲しい。</p> <p>協働について 市民より、市役所職員に「協働」の理解が全くできていない。協働の意味、可能性、市の役割をしっかりと認識して欲しい。最後まで、この事業について、担当職員が理解できていなかったのは、とても残念でした。 互いに時間とお金の無駄遣いでした。</p> <p>審査員について 採択をする委員も知識不足は否めない。このコロナの状況下、委員からは非難、否定が多く、アドバイス等を得られたのは、他市、他県等で活動を日頃からしっかりとされている、常日頃から危機管理の出来ている方々だった。 もう少し、机上の弁でしか考えられない委員ではなく、日頃から活動をしっかりとされている方を委員として選んでいただきたい。高齢者が多いことも気になった。若くても、いろいろな活動をされている方はいらっしやいます。委員に若手が居てもよいのではないのでしょうか。考えが古すぎるし、決めつけで物事を考え過ぎていて、協働事業に面白みがなく、可能性も広がらない。ご立派な肩書はいらないので、市民活動をしっかりとされている方を選んで欲しい。また審査員の方が活動をされている団体がいる場合は、審査に影響するため、審査員から外すべきだと感じました。投票しなくても、影響は少なからずあります。プレゼン中、審査員が指を差し、指示を出していました。そのこと一つ取っても、有利だと感じました。審査員の質問についても、あまりにもくだらない質問が多い。審査員のレベルを上げて欲しい。</p>		<p>コロナ禍の影響もあり、介護保険施設等での訪問等受け入れが進まない現状もありますが、市内の各地域包括支援センターや社会福祉協議会等の関係機関とも連携を強化し、より良好な関係を築く必要があります。 また、団体の活動は実質的に代表一人で切り盛りしている部分が多く見られ、周りでサポート出来る人材を揃え、法人の体力強化に取り組む必要があると考えます。</p>			
記入年月日 令和3年12月16日		記入年月日 令和3年12月14日			

※記載にあたっては、令和3年11月末時点の進捗を記入。